



(通巻 456号)
2019 Vol.59 No.1 (1月号)

C O N T E N T S

○	連載：「私とオーディオの出会い」 Vol.4	会長 小川 理子	P3
○	新 4K 8K 衛星放送の放送技術について	NHK 放送技術局制作技術センター 柏木 美菜 NHK 技術局開発センター 花田 彰 NHK 放送技術研究所 大久保 洋幸	P6
○	音の日委員会の活動報告	音の日委員会 委員長 林 和喜 (株式会社JVC ケンウッド)	P13
○	「学生制作する音楽録音作品コンテスト」受賞作品制作レポート		
	「最優秀賞」名古屋芸術大学 音楽学部 山下 真登		P24
	「優秀録音技術賞」九州大学 芸術工学部音響設計学科 加藤 拓		P28
	「優秀音楽作品賞」日本工学院専門学校ミュージックカレッジ音響芸術科	横田 創平	P32
	「優秀企画賞」日本工学院専門学校ミュージックカレッジ音響芸術科	岡澤 朝輝 小形 花菜子 飯塚 菜央 岩坪 拓尔 榎田 優理 永井 隆隆	P37
○	CES2019 報告	三菱電機株式会社 伊藤 章紘	P40
○	【JAS インフォメーション】		P51
○	編集後記	編集委員 吉野 修一	P52

1月号をお届けするにあたって

ここ東京では比較的穏やかな新年を迎えましたが、さすがに本稿を執筆しております大寒の時期ともなると、やはり例年のごとく、やっと 10℃に届くような厳しい寒さを覚える日が続いております。インフルエンザも猛威を振るっておりますが、皆さまは如何お過ごしでしょうか？

今年は恒例の行事の紹介に「平成最後の」という決まり文句が耳に付き、その意味で例年とは少し違った感覚を覚える場面が多い印象です。今号では去る 12 月 6 日に開催された、平成最後の「音の日」関連の特集記事を中心にお送りします。

まず「音の日」の設立趣旨、および委員会の活動内容、および「音の日」イベントの実施報告を、音の日委員会、林委員長より報告をいただきました。さらに、この中でご紹介のある、「学生制作する音楽録音作品コンテスト」において受賞された方々から、作品への思い、制作の上で工夫した点などを寄稿いただきました。

また、12 月 1 日にスタートしました、新 4K8K 衛星放送の放送技術、その中でも特に音声制作、伝送、受信技術にフォーカスを当て、NHK の柏木様、花田様、および本紙編集委員でもある大久保氏より、解説記事の寄稿をいただきました。さらに、三菱電機の伊藤様からは、CES2019 の報告を頂いております。

さらに第 4 回となる小川会長の連載、「私とオーディオの出会い」では、茶道を主としたご自身のご経験をもとに、オーディオへの深い想いをご披露頂いております。

最後になりますが、元・日本オーディオ協会理事、音の日委員会委員長、ジャーナル委員会委員長の森 芳久様、さらに元・日本オーディオ協会専務理事の渡辺 周様が、相次いでご逝去されました。これまでのお二人のご貢献に御礼を申し上げるとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。